

承認番号：M2000-1866 神経伝達関連分子に対する抗体による精神症状の発現機序
に関する臨床的・基礎的研究 のおしらせ

当院では「神経伝達関連分子に対する抗体による精神症状の発現機序に関する臨床的・基礎的研究」を実施しています。この研究の目的の一つは、自己抗体の種類と精神症状の対応を明らかにし、自己抗体を有する患者が精神症状を発症するメカニズムを明らかにすることです。

この研究の一環として、ヒト脳の免疫組織化学的研究を行います。ヒト脳組織は本学人体病理学分野より提供を受けます。本組織は病理部が病理解剖の際に、包括的な同意のもとで採取されたものです。また、本学バイオリソースセンターに保管されている血清も使用します。この血清も包括的な同意のもとで採取されてバイオリソースセンターに保管されているものです。共同研究機関は東京大学大学院薬学系研究科（研究責任者：池谷裕二）、栗田病院（研究責任者：寺崎太洋）、高月病院（研究責任者：長瀬輝誼）、柏駅前なかやまメンタルクリニック（研究責任者：中山貴至）、住友ファーマ株式会社（研究責任者：日野恭介）、チューニングフォーク・バイオ・ジャパン株式会社（研究責任者：引地裕一）、宮崎大学（研究責任者：平野羊嗣）、富山大学（研究責任者：高橋 努）です。また、国立精神・神経医療研究センターの研究課題名「血液検査による統合失調症・気分障害の診断法の開発に関する研究―第三期―」（研究責任者 堀弘明）、奈良県立医科大学精神医学講座の研究課題名「統合失調症、自閉スペクトラム症、アタッチメント障害、摂食障害、パーソナリティ障害、認知症の血液バイオマーカー研究」（研究責任者 牧之段学）です。すでに収集された血液も使用します。この血清は二次的な使用の同意が得られている採取されて国立精神・神経医療研究センター及び奈良県立医科大学に保管されているものです。また、本学脳神経内科に保管されている血清・髄液も使用します。これは、2000年1月1日以降に本学脳神経内科病棟・外来で診療を受けられた患者さんより臨床目的に採取した血液と髄液の余剰検体となります。

この研究の実施期間は研究実施許可日から2030年3月31日です。

この研究は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守って実施されます。診療や検査で得られた内容（性別・年齢・既往歴・発症年齢・内服薬等）のみを使用する研究で、患者さんのお名前、住所といった個人情報は使用しません。また、研究結果の発表時にも個人情報は使用しません。患者さん・ご家族には研究主旨をご理解いただき、ご協力下さいますようお願いいたします。試料・情報の管理責任者は研究責任者である塩飽裕紀です。試料・情報は本学のみで使用します。

この研究は研究責任者である塩飽裕紀宛ての科学研究費助成事業補助金、住友ファーマ株式会社からの共同研究費等を用いて行われます。共同研究契約により住友ファーマ株式会社に特段有利になることがないように運用されております。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の

利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。また学会や論文の発表でも研究費について公表し、透明化を行います。利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合の良いものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者からみて生じかねない状態のことを指します。

研究への参加を希望されない場合やご質問は主治医に直接お申し出いただくか、下記へご連絡下さい。研究対象者の求めに応じて試料・情報の利用を停止できます。

東京科学大学医学部病院 精神科（精神行動医科学）
テニユアトラック准教授 塩飽裕紀

〒113-8519

東京都文京区湯島1-5-45

電話：03-5803-5673（ダイヤルイン）

（対応可能時間 平日 9:30～17:00）

苦情等の窓口

東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話：03-5803-4547

（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）